

水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

快適な交通ネットワークをつくります



高架化が完了した京浜急行線

5年後のめざす姿

○区民も、区外や外国からの来訪者も、内外へ円滑に移動できる都市になっています。

これまでの成果

- 計画策定当初、羽田空港再拡張^{*1}などに伴う交通需要の拡大は著しく、京浜急行線と交差する国道15号や環状8号線では慢性的な交通渋滞が発生していました（国道15号で最大780m、環状8号線で最大390m）。そこで京浜急行連続立体交差事業を推進し、事業区間28か所の全踏切が除去された結果、交通の便が格段に向上し、渋滞の緩和につながりました。
- 鉄道駅やバス停から離れた地域の交通基盤については改善ニーズもあり、外出に不安を感じる高齢者を支援するため、矢口地区ではコミュニティバス^{*2}を試行運行しました。結果、地域交通網の機能が向上しました。新空港線^{*3}整備は、事業化の検討や関係者合意に向けた取り組みを重ねるとともに、区民への啓発を行い、区民の期待度が高まりました。
- 大森海岸駅など4駅においては、計画策定当初、自転車等駐車場は未整備でしたが、合計508台分を設置しました。その結果、羽田空港を除く区内全駅に自転車等駐車場の設置が完了しました。蒲田駅周辺では臨時駐輪帯を設置するなど、区営・民営あわせて15か所の整備・増設を行いました。さらに、主要駅での指導員の配置や、定期的な啓発活動により、放置自転車の解消に努めました。結果、過去10年間「放置台数の多い駅ワースト10」^{*}に入っていた蒲田駅は、平成24年にその状態から脱却しました。

現状と課題

- 羽田空港は平成22年の再拡張・国際化以降、段階的に発着容量を拡大し、日本の空の玄関口としての役割は今後も増大する見込みです。国際化が進む中、羽田空港と大田区内及び各方面への交通アクセス^{*}の円滑化がますます重要となります。
- 特に新空港線は、国も平成27年までに整備着手すべき重要な路線として位置づけています。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を接続し、東急多摩川線を経て、東京西部方向及び副都心方面へと結ぶことで、区の東西のみならず、東京圏全体の利便性の向上につながると期待されていますが、関係機関との合意形成が課題となります。
- 東日本大震災以降、災害時でも緊急物資輸送などで使用できる交通アクセス道路整備の重要性が再認識されています。そのためにも、都市計画道路^{*4}の整備は、引き続き実施していかなければなりません。
- 自転車に関しては、駅前の乗り入れ台数が増加傾向にあり、歩行者との事故などの一因となっています。引き続き、放置問題、交通事故の防止や交通ルールの遵守といった様々な課題を解決する必要があります。
- 今後も国際化により拡大する人々のにぎわいを、安全で快適なものとするため、これら区内全域に広がる公共交通網の整備をさらに推進することが求められています。

^{*}東京都「駅前放置自転車の現状と対策－平成24年度調査－」調べ

指標に注目!

◆めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

| モノサシ(指標) | 未来プラン策定時の「現状」 | 25年度 | | 30年度 |
|---------------------------|--------------------|------|--------------------|--------|
| | | 中間目標 | 最新値 | 目標値 |
| 区内の通勤・通学の便に満足している区民の割合(%) | 76.7% (平成20年度) | — | 75.7% (平成24年度) | 80% |
| 放置自転車台数(台) | 2,552台 (平成19年度) | — | 2,436台 (平成24年度) | 2,280台 |

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

快適な交通ネットワークをつくります

1 基幹交通ネットワークの整備

- 新空港線^{*}の整備推進
- 都市計画道路^{*}の整備
- 京浜急行連続立体交差事業の継続整備
 - ↳ 地中梁設置工事、高架橋工事、駅舎建設工事、関連側道整備工事
- エイトライナー^{*5}及び新たな交通システムの整備検討
 - ↳ エイトライナー^{*}促進協議会総会の継続的な開催、交通現況の継続的な調査

2 地域交通ネットワークの整備

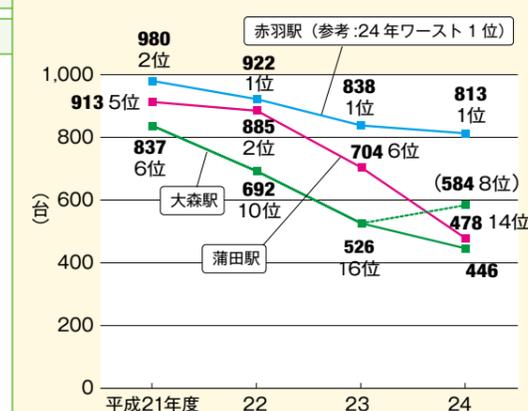
- バス交通網、停留所の整備支援
 - ↳ バス事業者との調整
- コミュニティバス^{*}の導入検討、運行支援
 - ↳ 利用促進、利用状況等の分析・検証
- 駐車場の整備、利用促進
 - ↳ 民間事業者の駐車場整備を支援
- 自転車等利用総合対策の推進

■ 京浜急行線沿線アクセス道路・京急蒲田駅東口駅前広場等の整備

■ 空港臨海部交通ネットワークの拡充(再掲2-2-2)

参考データ

▶ 駅の放置自転車台数と順位(ワースト)



※大森駅の点線及びカッコ内は、品川区の区域を含んだ放置台数です
出典：「駅前放置自転車の現状と対策」(東京都青少年・治安対策本部)

*1 羽田空港再拡張

首都圏における航空需要の拡大に対応するため、羽田空港に4本目の滑走路を整備し、同空港の能力を拡張した事業。

*2 コミュニティバス

地域の住民の利便性向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停留位置などを工夫したバス。

*3 新空港線

渋谷・新宿・池袋を含む東京圏西南部地域から羽田空港へのアクセス機能強化、蒲田地域の都市再生、大田区の東西交通問題の解消などを図るため、東急多摩川線と京急空港線を結ぶ鉄道。

*4 都市計画道路

都市の健全な発展と秩序ある整備を図ることを目的として、都市計画に定められた道路。

*5 エイトライナー

北区・板橋区・練馬区・杉並区・世田谷区・大田区が実現をめざしている6区地域、赤羽～田園調布～羽田空港方面を結ぶ環状鉄道。運輸政策審議会答申第18号にて、「今後整備について検討すべき路線」と位置づけられている。

水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

快適な交通ネットワークをつくります

施策の方向性と主な事業

1 基幹交通ネットワークの整備

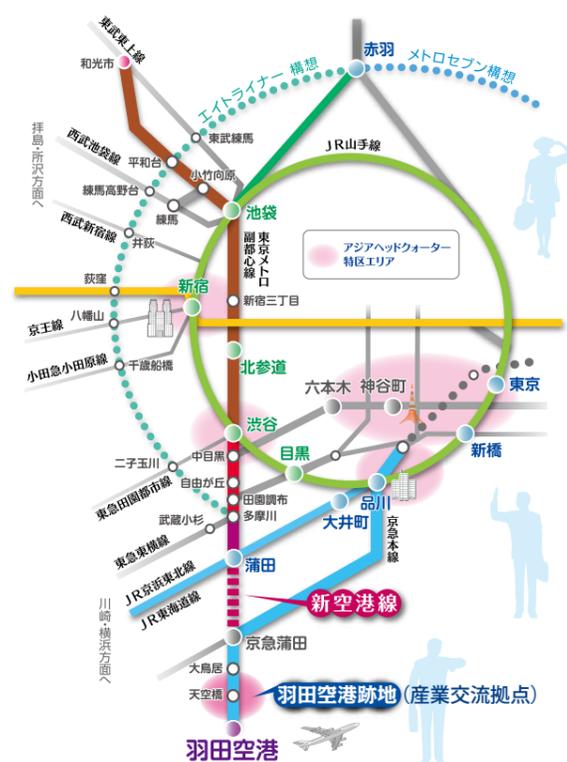
鉄道などの公共交通手段の整備促進を行い、観光の視点も踏まえ、区内はもとより、羽田空港や周辺区市からのアクセス*を向上させます。都市計画道路*の整備や上下線高架化が完了した京浜急行線における連続立体交差事業の継続により、区内外での移動利便性の向上を図ります。

主な事業

■新空港線*の整備推進

国際化した羽田空港へのアクセス*機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の整備を、平成27年度事業着手に向けて推進します。

| (平成/年度) | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31~ |
|----------------|----|------|----|----|----|-----|
| 整備事業に向けた検討 | | → | | | | |
| 区民協議会と連携した促進活動 | | → | | | | |
| 関係者との協議及び事業推進 | 協議 | 事業推進 | | | | 継続 |



広がる鉄道ネットワーク

■都市計画道路*の整備

主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。平成28年度から37年度までの概ね10か年で整備する路線を示した「東京における都市計画道路*の整備方針（仮称）」を、東京都及び関係区市町で連携・協働*して策定します。

| (平成/年度) | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31~ |
|-----------------------------|----|----|----|----|----|---------|
| 区画街路第1号線(大岡山付近)/用地取得・整備 | | | | | | 継続 |
| 補助44号線その2(上池台付近)/用地取得・整備・測量 | | | | | | 残路線事業着手 |
| 補助43号線(仲池上付近)/用地取得・整備・測量 | | | | | | 残路線事業着手 |
| 補助38号線(羽田旭町付近)/用地取得・整備・測量 | | | | | | 継続 |
| 第四次事業化計画の策定(区内全域) | → | | | | | |

2 地域交通ネットワークの整備

車・バス・自転車などを利用するための地域の交通網を改善し、交通不便地域の解消や、高齢者や障がい者など、誰もが移動しやすいまちづくりに取り組みます。

主な事業

■自転車等利用総合対策の推進

「大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境を整備します。区民や鉄道事業者など関係機関との連携を強化し、駅周辺の放置自転車を含め自転車等利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を図ります。

| (平成/年度) | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31~ |
|---------------|----|----|----|----|----|-----|
| 自転車等駐車場の整備 | | | | | | 継続 |
| 自転車走行環境の整備 | | | | | | 継続 |
| ルール・マナーの教育・啓発 | | | | | | 継続 |

■京浜急行線沿線アクセス道路・京急蒲田駅東口駅前広場等の整備

京浜急行線の連続立体交差事業を契機として、アクセス道路や駅前広場などの整備を進めます。まちづくり事業や幹線道路整備との調整を図りながら、京浜急行線沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。

| (平成/年度) | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31~ |
|------------------------|----|----|----|----|----|-----|
| 用地取得 | | → | | | | |
| アクセス道路・京急蒲田駅東口駅前広場等の整備 | | | | | | → |

■空港臨海部交通ネットワークの拡充 (再掲2-2-2)